

教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策（R5実績）

（単位：人）

	1号認定（2号認定以外の3～5歳児）			2号認定（保育認定を受けた3～5歳児）							1号+2号 (③+⑥)
	量の見込み (需要量) ①	確保方策 (供給量) ②	③ (②-①)	量の見込み(需要量)			確保方策(供給量)			⑥ (⑤-④)	
				④(A+B)	教育ニーズ A	保育ニーズ B	⑤(C+D)	教育保育施設 C	企業主導型保育 施設の地域枠 D		
計画値	5,913	8,281	2,368	18,977	1,605	17,372	20,745	20,674	71	1,768	4,136
実績値	-	8,720	2,807	-	-	-	18,627	18,442	185	▲ 350	2,457
差(実績-計画)	-	439	-	-	-	-	▲ 2,118	▲ 2,232	114	-	▲ 1,679

	3号認定（0歳児）				3号認定（1・2歳児）						需要量 (総数) I ①+④+⑦+⑩	供給量 (総数) II ②+⑤+⑧+⑪	II-I ③+⑥+⑨+⑫
	量の見込み (需要量) ⑦	確保方策(供給量)			⑨ (⑧-⑦)	量の見込み (需要量) ⑩	確保方策(供給量)			⑫ (⑪-⑩)			
		⑧(E+F)	教育保育施設 E	企業主導型保育 施設の地域枠 F			⑪(G+H)	教育保育施設 G	企業主導型保育 施設の地域枠 H				
計画値	2,837	3,897	3,792	105	1,060	11,366	12,668	12,584	84	1,302	39,093	45,591	6,498
実績値	-	3,736	3,595	141	899	-	12,074	11,761	313	708	-	43,157	4,064
差(実績-計画)	-	▲ 161	▲ 197	36	-	-	▲ 594	▲ 823	229	-	-	▲ 2,434	-

○量の見込み(需要量)は、令和4年時点の教育・保育施設の利用状況に、今後利用したいという潜在的な利用希望を加えたものである。

○確保方策(供給量)は、令和4年時点で、各市町村の利用定員数を積み上げたものであり、1号認定(教育認定を受けた3～5歳児)は計画を上回る利用定員となっている。

○今後とも、施設整備(ハード面)、保育士等の確保(ソフト面)及び利用定員調整(ソフト面)等により、適切な需給調整となるよう市町村と協議してまいりたい。

【参考】各施設利用児童数 1号+2号：24,698人、3号：16,874人 計41,572人